

多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成23(2011)年5月9日(月)午後1時発表

多賀城市内の被害状況	
・死亡者	185名
(内訳)男性	112名
女性	72名
身元不明	1名
・行方不明者	4名
・避難者数	905名

菊地健次郎市長から

今日は、天気がとてもよく、緑が眩しく輝いて見えます。

昨日、山王市営住宅跡地の応急仮設住宅へ行き、10世帯位の方々と話をしましたが、みなさん「落ち着いて生活ができるようになった」と安堵されていました。

多賀城市内では、津波の被害のみならず、地震の被害に遭われた方もたくさんおりまして、その方々の家屋調査についても、他の自治体からの応援をもらいながら、早期に対応することとしています。

6月上旬には仮設住宅も約300戸となるので、避難所の方も大分移られることから、そのころにはさらに落ち着くと思われまますので、頑張ってください。

自衛隊から

週末は、特に異状はありませんでした。本日も給食、入浴等各種支援について、これまでと同様に実施します。

宮城県から

東日本大震災の復興に当たっては、男女共同参画の視点を加えることが重要であり、そのためには計画策定等の過程において女性を積極的に登用して広く意見を聞くように、との提言が男女共同参画会議議員からありました。先日開催された宮城県災害対策本部会議の資料として提出されたものを入手したので参考にしてください。

先日、多賀城市から依頼のあった宮城県が行うべき復旧工事等の進捗スケジュールについては、現在取りまとめ中ですので、まとまり次第報告することとしております。

警察から

5月6日（金）に宮内地区において遺体が1体発見され、現在身元確認中です。本日も桜木、八幡地区を中心に、継続して行方不明者の捜索活動を行います。

本日も県外からの応援を得ながら、市内の治安維持のための巡回パトロールや交通誘導等の支援を行います。

消防署から

5月6日（金）から8日（日）まで13件救急搬送しました。

5月7日（土）午後9時ごろ宮内地区にて火災が1件発生し、倉庫が全焼しました。

本日も、危険物の回収等に当たります。

消防団から

5月7日（土）に宮内地区において発生した火災に、第5分団などが消火活動を行いました。

市役所から

応急仮設住宅の申込総件数 390件

民間借上げ住宅の申請総件数 169件

住宅応急修理受付総件数 1,253件

5月6日（金）から被災家屋及びブロック塀の解体に関する申込を開始し5月8日（日）現在で191件受付しました。

5月8日（日）現在で3,967万円の寄附金をいただいております。

総合相談窓口については、5月8日（日）で新規21件、継続80件でした。

5月7日（土）の災害ボランティア受付人数は175人で、この結果、ボランティア受付累計人数は1万人を超えました。

雨水幹線の清掃状況について、八幡雨水幹線のメイン部分については、ほぼ100%終了しました。南幹線については52.3%終了しております。

昨日も全国からたくさんの支援をいただきました。

秋田市で8月の「竿灯祭り」に200組400人の親子を招待したいとのことで、5月19日（木）に秋田市長が来庁します。

本日午後4時に伊豆の国市の副市長が来庁します。

被災家屋撤去の支援で国分寺市から職員10名の支援を受けることとしており、本日午後2時に国分寺市の副市長が来庁します。

5月10日(火)午前11時45分に岡山県総社市長が来庁し、応援物資を御提供いただくほか、地元小学校の児童が作った千羽鶴を多賀城小学校に贈呈していただきます。

本日午前3時に栄一丁目トヨタ陸送の西側で300mmの管から漏水が発見されました。復旧工事は本日中に終了しますが、4世帯が断水となります。